



和

2018-2019

第23回例会

RIテーマ BE THE INSPIRATION  
インスピレーションになろう

クラブテーマ 『「和」を以って～夢を～』

# 会報 No. 1067 豊橋東ロータリークラブ

事務局：豊橋市花田町石塚 42 豊橋商工会議所内 TEL 0532-56-8566 FAX 0532-39-7520

会長：西 崇秀 副会長：安田直樹 幹事：福井知裕 出席・会報委員長：長田徹也

平成 31 年 1 月 16 日(水) 12:30~13:30

例会場：ホテルアークリッシュ豊橋4F ザ・テラスルーム 担当：理事会

ロータリーソング「我らの生業」/「四つのテスト」唱和：齊藤 伸明 さん

「ロータリーの友」1月号読みどころ紹介：荒木 聖行 さん

ゲスト なし

出席報告	会員総数	計算会員	出席免除者数	欠席	出席率	12月19日修正出席率	ビジター
	48名	45名	5名	10名	77.78%	100%	2名

## 会長挨拶 西 崇秀 会長

2019年も明け、鏡開きも終わり、本格的にこの年が動き始めました。鏡開きといえば、神話の時代天照大神様が、瓊瓊杵尊に授けた三種の神器 八咫瓊勾玉(ヤサカニノマガタマ) 天叢雲剣(アマノムラクモノツルギ) やたかの鏡があります。このやたかの鏡を形どったものが、鏡モチといわれているようです。鏡は、鑑みるといわれこの言葉から鑑み餅と呼ばれ、変化して鏡モチになってと言われています。

鏡餅は、平安時代には既に存在し、お正月に飾られるようになったのが室町時代以降といわれています。鏡開きは、江戸時代初期に武家の間で広まったようですが、最初は、刃物で切るのは縁起が悪いということで、木槌などでたたいて割っていたようです。これが、日本酒の鏡開きにも生かされているのでは、といわれています。

新春年男放談よろしくお祈りします。

鏡開きは、関東では、1月11日関西では、1月15日もしくは20日と、地域によって異なるようです。

## 本日のプログラム 「年男新春放談」

鈴木 昌敏 さん 豊橋南クラブとの分封メンバー当時(影が濃かったとき)と、先日行われた「新春例会・羽田八幡宮参拝」の発足エピソードを紹介されました。参拝については、宗教行事と考えず習俗として捉えて、会員の伝手でできたことと話された。本題の新春放談は全体で3回目。72歳亥年男。「青年は未来を見つめ、老人は過去を振り返る」。6回の亥年を迎えられたその歴史の動向を踏まえ、①戦後生まれのインフレと食糧難の時代を生き、②伊勢湾台風の非国民と呼ばれた事件エピソードを話され、③④団塊の世代として経済と労働、消費と流行を支え、⑤働き盛りにポストがなく、リストラ旋風、⑥定年を迎え、妻に従う。今回の⑦は…。今年の政治や自然に波乱が起こらないことを心配しているが、何とかなるだろうと締め括られた。



中野 亘 さん 『恐怖におびえると恐怖に支配される』ご自身が好きな言葉。一学生時代に経験された空手の試合前の心裡(目があったときに勝敗が決まってしまう)を通して、如何に強い信念をもって取り組むことが大切かを話された。当時は寸止めが主で、対戦中痛い思いをして勝ったが、次の試合はその時を思い出してしまい、負けてしまったエピソードを披露された。恐怖はプレッシャーとは違うことも伝えた。また、軽い銭湯話で今起きている性問題を道徳教育で正された後は、ご自身が実践されている? 「いい亭主の5か条」をお披露目。①鳥のように早く…②牛のように一生懸命…③豚のように…④羊のように…⑤犬のように…。家庭円満の方法を伝授して頂きました。まだ少し時間が余ったということで、数ある持ちネタの一つ(トイレの中で)を披露して頂きました。



## 3分間スピーチ 伊藤 篤哉 さん

1月の成人式で「青少年にも政治を考えながら、豊橋の町を元気にして下さい。」と挨拶されたことを話されました。2022年4月、民法が改正されることに向けて、豊橋市が成人式を18歳で行なうのがよいのかを考えるように、会場にみえる成人を迎えた人達とその父兄に問われた。間近のセンター入試試験への配慮、晴れの舞台に制服参加…伝統文化の廃れ、業界によってはビジネスに打撃を受けるなどの問題点を挙げられた。また、自分の足で立つ独立自尊や共生他存と、世界の人々との共生社会を作りたいとも。安政の大地震をキーワードとして、元号が変わるときには何か起きる。「備えよ常に(Be Prepared)」を教訓にしていることを話され、最後に力強く、「いつ、どのような場所、どのような状況に置かれても、今、自分自身が持っている力を全て出し尽くして、後悔の内容に生きていく」と決意を話されました。

